

NHK 奈良

ならナビ 「はてなにくえすと」

『奈良への修学旅行』

令和 6 年（2024）12 月 23 日 午後 6 時 30 分放送

「奈良のはてな」を探求する「はてなにくえすと」。今回は「奈良への修学旅行」についてです。年間を通して修学旅行生の姿を目にする奈良。一体いつから奈良は修学旅行の定番になったのでしょうか？初めて奈良に修学旅行生が来たのはいつなのか、どのような学生たちだったのか、そして、どんな内容だったのか？初の奈良への修学旅行の謎に迫ります。

奈良へ初の修学旅行のルート



日本初の修学旅行は明治 19 年（1886）2 月に東京師範学校（筑波大学の前身）が千葉の銚子方面へ。

奈良への初めての修学旅行は明治 21 年（1888）3 月で当時大阪にあった第三高等学校（その後、旧制三高となり現在の京都大学）で五泊六日 120 人の徒歩遠足であった。

大阪城を出発、一日目は暗峠を越え、二日目は奈良の旧跡を散策、三日目は奈良の飛火野で発火演習。

発火演習は火薬を使うが実弾を使わない射撃練習で、番組では説明にイメージとして右の写真を使用された。

四日目は月ヶ瀬、五日目は笠置山で後醍醐天皇を偲び、六日目は一部木津川を舟に乗り大阪へ。

遠足（修学旅行）そのものが、「行軍訓練」が主な目的で当時富国強兵という国家的政策であった。

発火演習の説明の写真（イメージ）

大正時代の五條中学校での発火演習風景

写真提供：芳田耕平氏

